

遠野に移住し起業を目指す皆さんを紹介 Vol.15  
**遠野で起業に挑戦中!**

平成28年から市と(株)ネクストコモンズが手がける「ローカルベンチャー事業」。遠野に移り住んだ10数人の起業・事業化に向けた活動の様子やイベント情報などをお伝えします。



仕事や遊びなど、幅広く活用できる車中泊用の家「バンパコ」。価格は、DIYキット1組298,000円(税込)から。



**バンパコ**は、価格を抑えたDIYキット(組み立てを自分でする「Do It Yourself」の略)から完成品まで6プランを用意しています。また、車中泊以外の用途も開発が続いています。バンパコの詳細・問い合わせは、「超低コスト住宅研究会」のホームページへ!

**超低コスト住宅研究会**  
 検索

**イベント**

**「ホップ収穫体験」**

整備中のドイツ式ホップ畑に特別ご案内! プルワリー見学やホップ収穫体験で、獲れたてのホップ&フレッシュな香りのビールを楽しむことができます。

- 日時 8月4日(日)、13時半~17時
- 集合場所 遠野醸造 TAPROOM
- 参加費 大人 5,000円、子ども3,000円
- 定員 8人
- 問い合わせ 袴田 大輔  
 メール: info@tonobrewing.com

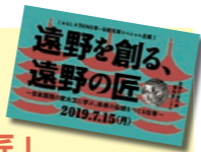


**イベント**

**おもしろTONO学 「遠野を創る、遠野の匠」**

日本屈指の宮大工、社寺工舎(松崎町)代表の菊池恭二さんから宮大工の仕事や社寺建築について学びます。

- 日時 7月15日(月)、10時~16時
- 定員 ①午前の部:20人 ②午後の部:30人
- 参加費 ①と②参加:市民2,500円(一般4,500円) ②のみ参加:市民1,500円(一般3,000円)
- 内容 ①フィールドワーク ②菊池さんの解説など
- 問い合わせ to knowプロジェクト 富川 岳  
 ☎080-5451-0290 メール: gaku@tomikaway.com

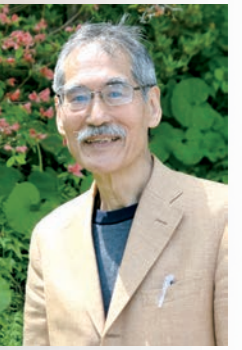


遠野文化研究センターだより とおのじん ー其の14ー

# 遠野人

★筆者 **木瀬 公二**

遠野文化研究センター研究員、朝日新聞・社友記者。1948年東京生まれ。73年朝日新聞入社。元朝日新聞盛岡総局長。08年に遠野部に移住。著書に遠野物語関連の『119のはなし』など。



遠野文化研究センターの活動に興味を持っていただけるような情報をお届けしています。今月は、『遠野物語』発刊110周年事業についてです。

今、遠野文化研究センターでは、遠野市が元気になるためにはどんなことをしたらいいのかという知恵を出し合っています。6月11日には、同センター運営委員や研究員ら約20人が話し合いをしました。来年の「遠野物語発刊110周年」に向け、素敵なアイデアがたくさん出ました。でもまだ素案段階なので、全部のアイデアを披露するわけにはいきません。でも自分の分ならいいでしょう。一つだけ記します。



高清水高原から遠野盆地を望む

私がやりたいのは、小学生や中学生の副読本「遠野の日本一」を作ることです。昨年9月号に書いた、アフリカで誕生した人類が長い年月をかけて日本列島にたどり着き、最初に住み着いたのが遠野という可能性が高い話に関連します。要するに、住みやすいところを探し回った古代人が、「うん、ここだ」と判断したわけです。それは即座に、遠野が日本一住みやすい土地だったということです。日本中に誇れる出来事です。そういう「日本一」を集めて、1冊の本にまとめようと思っているのです。

その作業を小中学生にやってもらうのはどうだろうと考えています。まずは家庭の中で食事をしながら「我が家の日本一」を話し合います。そうして集めた「日本一」を学校などに持ち寄ります。本当の「日本一」である必要はありません。自慢できるものでいいのです。我が家の例を挙げます。埼玉県に住む私の娘が、小学1年と幼稚園の子どもに「夏休みに、おじいちゃんおばあちゃんの住む遠野かディズニールランドかどっちに行く?」と聞いたら、二人は口をそろえて「遠野」

と即答したというのです。それは遠野が「ディズニールランドより魅力的な町」と名乗ってもいい出来事だと思っています。

妻が、人間ドックに行きました。肺活量検査を終えて医師から「よっぽど空気のきれいなところに住んでいるのですね」と感心されたそうです。これだって自慢の出来事です。

我が家は湧き水で暮らしていますが「自然豊かで災害に強い町」として自慢できることだと思います。ちなみに我が家の近くの「稲荷穴湧水」は、1991年に盛岡短大教授が、国内外の「おいしい水」50点を調査して「世界一おいしい水」と折り紙を付けた水です。細菌数などの「健康項目」と、鉄分などの「栄養項目」、カルシウムなどの「味覚項目」など8項目を数値化して比較した結論です。「我が家はその水でウオッシュレット」と友人たちに自慢しています。

こんな話はたくさんある気がします。それらを集めて、市外の人にも興味を示す読み物にする。子どもたちは、そういう作業をすることでふるさつを見つめ直すきっかけになり、遠野市民としての誇りを感じると思うのです。

もし、「いいね」と思う人がいたら一緒にやってくれませんか。まだ夢の段階ですが、実現するようなら続報をお知らせしたいと思っています。

★お知らせ

遠野文化フォーラム

子守唄と民謡

一東北民謡の父 武田忠一郎の贈り物一

来年発刊110周年を迎える『遠野物語』の記念イベントとし、「子守唄」や「民謡」をテーマに開催します。

- ◆日時 8月10日(土)、13時半~16時半
- ◆場所 遠野市民センター大ホール
- ◆入場料 2,000円(全席自由)



日本を代表する民謡歌手 原田直之

★問い合わせ (一財)遠野市教育文化振興財団 ☎62-6191

まなぶ **伊香学のチャタナーガNOW! Vol.14**

米國チャタナーガ市との交流を、派遣職員・伊香がお伝えします!

市議会と映画イベント

チャタナーガ市の市議会議員は、9つの行政区から選出された9人。任期は4年で議長と副議長が1年ごとに選出されます。市議会は毎週火曜日に開かれ、予算や条例改正、地域の問題などが話し合われます。驚いたことは、市民の議会参加。傍聴だけでなく、議会の最

後に発言する時間があります。

映画イベントも米國ならではの、6月13日(木)は、市役所主催による映画イベントが行われ、多くの市民が参加しました。映画は、公園の大型スクリーンを使って上映。入場は無料でポップコーンのサービス付きです。くつろぎ方も人それぞれ。屋外の開放的な雰囲気の中で、映画を楽しんでいました。



1\_チャタナーガ市の議場 2・3\_公園で開催される映画イベント。サービスのポップコーンは大量です



3